

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

集計委員人数計 20人

戦 略	評価 (平均)	4 思う	3 やや思う	2 あまり思わない	1 思わない
1 - 1 防災対策	3.0	4人	11人	5人	0人
1 - 2 防犯対策	3.4	9人	9人	2人	0人
1 - 3 地域福祉の推進	3.0	5人	10人	5人	0人
2 - 1 学校教育の支援	2.7	2人	11人	6人	1人
2 - 2 子育て支援	3.1	4人	14人	2人	0人
3 - 1 豊かなコミュニティの実現	2.8	3人	11人	5人	1人
4 - 1 市民協働型自転車利用適正化事業	3.0	5人	10人	5人	0人
4 - 2 L G B T 支援事業	3.3	8人	9人	3人	0人
5 - 1 住民自治の実現	3.4	9人	9人	2人	0人
5 - 2 区政情報等の発信力の強化	3.0	4人	11人	5人	0人
5 - 3 区役所づくり	3.2	6人	12人	2人	0人
全 体	3.2	6人	12人	2人	0人

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

【経営課題 1】安全・安心にらせるまち



(戦略 1 - 1) 防災対策

区政会議委員のご意見

評価 2

- ・防災講座を受講した人のみの回答（全区民ではない）
- ・地域の避難場所を知っているだけで、実際に起きた時に収容できるスペースが本当にあるのか。津波の時は、学校の講堂は無理なので、校舎のスペース、各ビル、マンションのスペースはあるのか？ 具体的ではない。
- ・研修を理解できなかった人が10%程あるのはなぜなのか？（受講できなかった人も必ずどこかでするべき）
- ・安全な避難路（手順）の認知度が低い。
- ・自治会に未加入世帯は、避難場所を知らない。（訓練に不参加）
- ・旅行者や外国人にわかりやすい表示が不足。
- ・弱者（高齢者、障がいのある方、子どもなど）を安全に避難場所へ誘導できるか、不安がある。
- ・災害が起きた場所、時間帯等で避難すべき場所が明確になっていない。
- ・防災訓練等の参加状況や参加されている年齢構成を考えると若い世代の参加、手助けがないと迅速、安全には避難できないと思われる。
- ・実際に災害にあった人が少なく、今回の土砂災害のように、急な川の氾濫に危機感を持つ人は少ないと思う。（都会だから大丈夫だろうという安心感がある）とはいえ、各取組によって、意識は年々高まっていると思う。

評価 3

- ・防災訓練の参加者が固定化している。参加者を増加させる工夫が必要。
- ・住民への広報は繰返し行うことが大事。
- ・避難場所の周知の工夫。
- ・意識の向上、情報の収集は増えていると思うが、あまりに関心な人とひとりでどうする事も出来ない人達がいると思うと懸念が残る。
- ・めざす状態は、「全区民が災害時に迅速、安全に避難できる状態」よりは「全区民が災害時に迅速、安全を確保できる状態（生きている状態）」であってほしいと思っています。その為には、区民ひとりひとりが自助力をつけること。その為に日頃から備えておく。この事業も市民協働型の取組になっていくよいと思います。
- ・具体的取組（1-1-1～3）は、目標の取組実績に達しているが、1-1-2・3の目標達成状況が目標を達成していない。

評価 4

- ・この前の地震の時に動いておられた事で思いました。一生に何回もあるものではなく、毎回違うのでとても大変な事案ですね。

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

(戦略1－2) 防犯対策	
区政会議委員のご意見	
評価2	・計画は目標以上に実施され、一定の効果が認められるが自転車盗や特殊詐欺が減少しておらず、さらなる啓発活動が必要と思われる。
	・何だか言葉が先歩きしてパフォーマンスを感じる。警察中心で良いのでは？□
評価3	・青パト、自転車パトロール隊、お巡りさんの巡回を多数見かけるようになり安心感が増えた。□
	・区役所が地域と企業、警察と連携して防犯活動に取り組む事は大変効果的で良いと思う。□
評価4	・啓発活動は十分に行われている。□
	・具体的取組の数値が目標達成されていること。□
	・取組実績、目標達成状況とも目標を達成。1-2-3の発生件数減は、評価大。□
(戦略1－3) 地域福祉の推進	
区政会議委員のご意見	
評価2	・おせっかい宣言の周知により、地域ネットワークの重要性を意識づける。□
	・地域での行事への参加が少ない。見守り、支え合いができていところもあるが、希薄なところもあるので、今後の取組が必要だと感じます。
	・要援護者登録名簿の活用方法をもっと明確にした方が良いのでは。
	・区役所がやるのか、社協がやるのか、どちらからも同じ様な話し。一つにしてほしい。
	・町会に加入する若い世代の減少、共働き世代の増加により昼は留守が多く、時間にも余裕がなく、近所のどの方が要援護者なのかわからない。
評価3	・「区民同士が見守り、支え合いが行われる」体制は出来たと思われる。「地域福祉活動に参加する区民が増える」に関しては、よどマガ等の広報の工夫、又、地域役員が地域の人達へ日常からフレンドリーな接し方を心がけるなどの努力が必要だと思う。（特に新しく参加してくれた人に対しては）
	・公園清掃や防災訓練などに参加者が増えたように思う。
	・取組実績、目標達成状況ともに目標値を達成しているが、要援護者見守りネットワークの仕組が出来ている地域は目標18地域とすべきであり、又、仕組の中味について更に議論する必要があると思う。
評価4	・登録同意は個人情報の関係で難しいと思う。支援体制は概ね出来ていると思う。
	・要援護者見守りネットワークの仕組みが出来ている状態はコンプリートですが、地域福祉活動に参加する区民を増やす為には、さらに活動しやすい環境づくり（ハードルをさげる→ボランティア活動の観念の意識改革など）が今後には必要だと思います。

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

【経営課題2】子育て世代が住み続けたいと思うまち

(戦略2-1) 学校教育の支援

区政会議委員のご意見

評価1

- ・補習事業が充実しているようには思えない。(学校に差がある) 平均を上回ったのは、先生方の努力ではないでしょうか。
- ・講座をするだけではほぼ無意味に思える。体力低下は深刻な問題であるとまず認識する必要があり、危機感を持ってほしい。体力がないまま大人になると大変なことになる。外遊びをすることで心も体も育つのでそこから考えてほしい。(勉強へのやる気、睡眠不足の改善にもつながる。)

評価2

- ・学力、体力が全国平均を上回るのにと少しの感がある。
- ・小学校にはユニークな体操器具が増えて休み時間や放課後に取り組む生徒が増えた。
- ・中学生は部活の生徒以外は起床が遅くて、食べない子が多い。
- ・幼児期に遊べる場所が少ない。学力＝勉強、体力＝スポーツになっていて、もっと普通の生活の中で体力が向上するもの、楽しく学べるものを淀川区から各小中学校へ提案できればと思います。(淀川区版ギネス、山本区長賞等子どもたちが個人、団体でチャレンジし、それを表彰する) →できれば継続してほしい。
- ・朝食を毎日食べる中学生を増やす。→食べてこない理由を追及すべき。
- ・先日、吉村市長が全国小中学校学力テストについて、全国の政令都市の中で最下位を抜け出せないと話をされていた。私達市民には先生に任せるより以外に方法はないが、この結果を見て先生も行政も何が原因なのか真剣に考えていく事も必要と思う。
- ・実質的に小中学生の全国平均より下回っている

評価3

- ・めざす状態の達成には至っていないものがあるが、取組は評価したいと思う。各事業の継続で学校、保護者、地域が協力して成果を出してもらいたいと考えます。
- ・参加していない学校がある中で全体の評価が出来るのか？週5日以上自宅学習に取り組む(目標30%、実績21.7%) 実績が低いのは何が原因？
- ・いろいろな支援や取組がされていると感じます。児童、親への周知は出来ているか。
- ・朝食を食べるという事はすごく良くなっていると感じる。学力を向上させるという事について、もう少し中学とかでの実施も考えたかどうか。
- ・(2-1-3) この取組には見直しを希望します。泳げることは自分の身を守ることに繋がります。体力をつける、タフな人間になることを伝えることからスタートさせた方がよいと思います。伝える対象は保護者(未就学時の方が効果があるかも!) 保護者に泳げることのメリットを伝えてプール開放等につなげてはいかがでしょうか？水災害があたり前におきてしまう昨今、急務ではないでしょうか。
- ・概ね目標達成状況値は達成されているが、2-1-3と5で目標値との差が大きい。差が大きいものについて、何かフォローはしていますか。
- ・2-1-2の中学生英語スピーチコンテストの参加者(8名)が増えることを期待しよう。
- ・2-1-5の課外授業の定員に対して参加者が少ないのが気になります。何か原因があるのか？

評価4

- ・目標達成

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

(戦略2-2) 子育て支援	
区政会議委員のご意見	
評価2	・「子育ての悩みや相談」にかかる取組をしても、ニュースで虐待などの事件が後を絶たない。これからは違うアプローチを考えてほしい。来てもらうのではなく、出向く、又は身近に子育てしやすい場所、人がいる環境作りをお願いしたい。 ・「共済型モデルの事業」について、少し不安を感じます。
評価3	・子育ての支援サービスは充実しつつあるように思うが緊急対応（当日の朝に発熱等）に一工夫必要では？ ・広報周知の徹底。 ・もっと広報すべきだと感じる。知らない母親多いです。 ・取組実績、目標達成値とも概ね目標に達している。
評価4	・「安心して住める」につながる重要な事業でニーズが多様であるため情報の発信と適切な対応が大切であると思う。 ・取組全体はすばらしい。受託事業者変更等で支障が出ないようにされたい。

【経営課題3】住民が主体となって運営されるまち	
(戦略3-1) 豊かなコミュニティの実現	
区政会議委員のご意見	
評価「1」	・そのような施設がある地域は良いが、ないところにはアナウンスが少しあるだけで、変な取組だと感じている。
評価2	・地域にしても町会にしても会議や取組がマンネリ化しているように思う。世代交代ができないことが一番の理由に思える。 ・地域活動協議会の仕組みがいまいちわかりづらい。 ・まちセンのアドバイスを得ながら、地域活動協議会の自律的な運営が出来るようになってきているが、企業、NPO、専門学校等との協力は単発的で、まだまだお互いに参画している状態ではない。 ・地域の活動も参加する人が同じ感あり、ひたすら声かけが必要。地域活動協議会を理解している人とそうでない人の差がある。 ・ここで評価されるべきは区民。真摯に受け止めたいと思います。 ・そして、今後協力できる区民でありたいです。
評価3	・地域活動協議会が中心となって行事の計画遂行が正確に進んでいて頼もしく思う。 ・他方、企業やワンルームマンションの住民参加は難しい状態。 ・地域を越えたまちづくりに関する活動について、区民の意識が低い。 ・取組実績、目標達成値とも概ね目標に達している。 ・今まで地域活動への関わりが薄かった層への参画の呼びかけがもっと必要。
評価4	・目標達成。

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

【経営課題 4】区民との協働による快適で魅力あふれるまち

(戦略 4 - 1) 市民協働型自転車利用適正化事業

区政会議委員のご意見

評価 2	・駅や商店街の近くは台数は減ったけど路地や店の前に違法駐輪がまだある。
	・広報等をもっと充実させる必要（区民に周知する。）チラシ・ピラを通じて幅広く（町内掲示等）情報発信を継続する。
	・駅前等は駐輪場も増え整備されているので放置自転車は少ないが、例えば、十三駅より少し離れた商店街や町中は結構放置されている事がある。空き地や店舗等で短時間なら無料でとめられるスペースの確保を検討してもらえたらと思います。
	・放置自転車の対策、啓発運動はひたすら続けるしかないのでは。利用者のモラルの問題。
評価 3	・放置自転車の多い場にポスターを貼る。「大阪市の駐輪場案内の近隣地図」や「一時間まで無料ですよ～」と書いてみる、等、どうですか？もしくは、チラシを自転車のカゴへ入れる。
	・駐輪場の周知方法の工夫。
	・取組実績、目標達成値とも概ね目標に達している。「駐輪後一時間まで無料」は、更に P R が必要。
評価 4	・大阪市の駐輪場で「駐輪後一時間まで無料」を実施していることをもっと周知するべきだと思う。
	・近年この事業の効果は前年比でみると少なくなってきたが、この事業をやめれば以前の状態に戻ってしまうであろう。
	・目標数値が達成されている。
	・余談ですが、機械式駐輪場の空き状況がわかるアプリ等ができるとよいですね。
	・こちらも余談ですが、貸自転車サービスなど住民と店舗等の協働で行われると観光サービスにつながるように思います。
	・地域活動協議会ができてから、よけいに住民が意識するようになってきていると思う。

(戦略 4 - 2) L G B T 支援事業

区政会議委員のご意見

評価 2	・まだまだ偏見や認められない人もいてるので、L G B T の事を知ってもらう事は必要かと感じます。
	・意識させすぎてしんどいと思う。私の周りにもいるが、自分で考えてやっているし、L G B T を意識する方がおかしいと思っているし、話しもしています。
評価 3	・国全体にも関心が広まりつつあり、淀川区が先進的に取組みを行っている事は誇りにすべきだと思う。
	・L G B T を異様な目で見える人は減ったように思う。
評価 4	・淀川区が先進的に取組み、大阪市も証明書を発行する等取組が前進している。国民的課題と捉えるなら国の強力な取組が必要である。
	・淀川区の先駆的な取組を評価、g o o d。

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

【経営課題 5】区民のお役に立つ区役所

(戦略 5 - 1) 区における住民主体の自治の実現

区政会議委員のご意見

評価 2	・「区民の意見やニーズの把握」の目標が35%というのが、よくわからない。低いのはなぜ？ ・区政会議では、書類の説明で多くの時間を費やし、議論もそれらに対してなので本音が言いにくい。区民の正直な意見を聞ける場でもあるのにもったいないように思う。
評価 3	・情報量が多すぎて、大部分の人は見落としているように思う。
評価 4	・区の人口が多く、きめ細やかな情報収集はなかなか困難だと思う。
	・区民のニーズを把握することに努められており、限られた原資でこれにこたえようとする姿勢が伺える。
	・情報については、「よどマガ」の全戸配布の効果は大きい。
	・目標達成。
	・4と3の差をうめるのは区民。それが出来た時が住民主体の自治の実現であると思います。
	・昔とは違う親切な対応になってきていますし、話をよく聞いて下さいます。
	・アウトカム指標に対して、概ね達成している。

(戦略 5 - 2) 区政情報等の発信力の強化

区政会議委員のご意見

評価 2	・自己中で市・区の方針、事業について無関心の人が多いように思う。
	・広報が足りないと。やる事が多くて、そこまでできないのでは。
	・ホームページや情報誌等知ってもらう努力は認められるが、高齢者等情報を取りにくい事が難しい方、苦手な方もいるので、集会や行事毎に今取り組んでいる事、お伝えしたい事等を発信してもらえると尚、よくなると思います。
評価 3	・一定の目標達成、目標の数値見直し、向上へ。
	・情報の受取りについては、区民側の必要な情報の取捨選択があると思う。「必要な情報が届いていない」という件に関しては、「よどマガ」より「Twitter・Facebook等」への誘導でより詳しい情報の提供をお願いしたい。
評価 4	・情報発信は伝わっている。
	・よどマガはとても読みやすく、わかりやすいです。
	・アウトカムや目標指数を達成している。

平成29年度運営方針 淀川区区政会議委員評価(結果)

(戦略5－3) 区民の視点に立った区役所づくり	
区政会議委員のご意見	
評価2	・窓口、話しにくいでしょう。外で番号札を渡しながら、少し聞いてあげて、この話しだと用紙にしるしをつけては？
評価3	・職員の方の対応に敬服しています。
評価4	・窓口に行けば、努力されていることが分かります。
	・いろいろな手法で努力されている。
	・目標達成。
	・アウトカム、目標値を概ね達成している。

2. 上記(経営課題1～5)のような淀川区の取組は、区の目標の実現に有効であったと思いますか？

区政会議委員のご意見	
評価2	・さまざまな取組は評価していますが、「子育てしやすく・・・」という点では、まだまだなように思います。高齢化社会において、「子供達の元気な姿が見えるまち」が区の目標にもつながると思うので、子供達にもっと目を向けてほしいです。
	・推進業務に携わっている者、お手伝いしている人にはわかっていても一般の人には理解出来ていないのでは。
評価3	・たくさんの目標に向かってお忙しくされていて、頭が下がります。
評価4	・運営方針は今までのPDCAでよく検討されたものだと思います。更なるスパイラルアップでより区民のためになることを期待します。
	・時代の変化に即した業務改善が求められる。
	・目標実現に向けて、今後、継続した取組を求めます。 ・目標設定について、他の23区との比較も必要。 ・競争意識も必要？ ・市民満足度、幸福度の向上を求めます。
	・必要最小限の目標ですので、憲法条文ではないですが「健康で、文化的な」を今後の目標として加えてはどうか。